

今週のビルマのニュース
2009年11月13日【0942号】

日本・ビルマ首脳会談 「支援を段階的に拡大」

・鳩山総理は7日、ビルマのテインセイン首相と会談し、同国の民主化に向けて詳細で具体的な要求を行った。総理はまず、政府とアウンサンスーチー氏及び国民民主連盟（NLD）との間で実質的な対話が進展し、来年の総選挙までに氏その他の政治囚が釈放されることが「極めて重要」と述べた。さらに言論・集会の自由の改善、NLD地方支部の活動許可、政府と少数民族との実質的な対話を期待すると述べた。また日本からの援助について、人道支援及び人材育成分野の支援を段階的に拡大することを考えているとし、来年予定の総選挙が「我々の期待する方向で行われれば…様々な支援を強めていくことができるようになる」と述べた（7日外務省）。

「核兵器製造に使用可能」装置の輸出で有罪判決

・ウラン濃縮等に使われる遠心分離機の開発に転用可能な装置をビルマに不正輸出したとして起訴されていた貿易会社社長が5日、懲役2年執行猶予4年の判決を受けた。会社にも600万円の罰金（5日共同）。

オバマ大統領、ビルマ首相との個別首脳会談はなし

・オバマ米大統領は15日、ASEAN10か国との初の首脳会談を行う。ビルマのテインセイン首相も出席するが、両国間の公式な首脳会談は予定されていない（ホワイトハウスによるブリーフィング）。

・クリントン米 국무長官は11日、シンガポールで記者会見を行い、ビルマの近隣国やASEAN加盟国は、ビルマが民主化改革を進め、信用性があり公正な総選挙を行うようにするため特に重要な役割を持っている、またビルマが実質的な進展を見せない限り米国は制裁を解除しない、と述べた（国務省）。

ウィンアウン元外相が獄中死

・1998～2004年に軍政の外相を務めたウィンアウン氏が4日、収容先のインセイン刑務所で死去した。2004年に当時のキンニョン首相と共に更迭され、禁固刑判決を受け服役中だった（4日ミジマほか）。

アウンサンスーチー氏が来週「重大発表」

・国民民主連盟（NLD）によれば、民主化指導者アウンサンスーチー氏が17日に声明を発表する予定。詳細は不明だが「ビルマの将来に向けた建設的なガイドライン」となるとのこと（12日DVBほか）。

軍政ナンバー4の将軍が突然ビルマ国軍から引退

・イラワディ誌によれば、軍政ナンバー4のティンアウンミンウー将軍が最近、国軍から自主的に引退していたことがわかった。国営紙は報道していない。国家平和発展評議会（SPDC）の第一書記という地位は今も保持している。軍政トップ・タンシュエ将軍にきわめて忠実な人物として知られてきたが、タンシュエ将軍の孫と自分の息子との間のトラブルが原因で引退したとの憶測もある（12日イラワディ）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、9～13日15～16時）

・山本宗補&野田雅「ビルマ（ミャンマー）・チベット」写真展とスライド&トーク（国立市公民館1階ロビー、17日～22日9～21時。但し初日11時から、最終日は19時終了。山本宗補と野田雅也によるスライド&トークは21日13時半～）

・ビルマ・タイ国境の町で「みらいの法律家学校—ピースローアカデミーでの活動報告」主催：ヒューマンライツ・ナウ、協賛：ビルマ市民フォーラム（青山学院大学 総研ビル9階、27日18時半～）

・第58回ビルマ市民フォーラム例会 ①マレーシアのビルマ難民が受けた人権侵害の証言記録『HOME』上映—リム・デズリ監督を招いて②在日ビルマ人難民申請弁護団より弁護士渡辺彰悟が最新状況報告（池袋・ECOとしま8階、28日18時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165